



通常総会の様子

第37回通常総会

“40周年記念総会” 役員改選され新たな顔ぶれ決まる

一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)は5月20日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で第37回通常総会を開催しました。

総会は正会員43名に対して41名(代理出席、委任状出席含む)の出席があり、全改協定款第19条の規定により成立いたしました。北川副会長の開会宣言後、橋本正敏会長がまず来賓のご出席への御礼を述べ、次いで、「総会に引き続き全改協創立40周年記念式典を開催するので、本日の総会は40周年記念総会と位置づけたい。当会は設立以来、生処販の翼を担う組織として、消費者の方々と向き合う立場で主に委託を受けて調査事業を私たちは行ってきたが、近年、一定の成果を見たのでその事業を終えることとなった。平成23年度の改革委員会の検討の結果、事業として、独自の事業を展開する方向性が定められ、新たに、地域における全改協の加盟店の地位を向上させることが全改協の役割となった。

平成26年度はこれを受け、物流業としての「安心・安全」の追求はもとより、社会貢献にもさらに力を注ぎたい。成果が出るには一定の時間が必要で、26年度はその第歩と位置づけている。ご理解と指導を賜りたい。

本日の40周年記念総会が、ささやかではあるが意義のあるものとなるよう心より願って開催の言葉とす

る。」と挨拶を述べて始まりました。

農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 関係諸団体、賛助会員、乳業メーカーからお招きした来賓を紹介し、祝辞として、森重樹農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 課長、木村敬 Jミルク普及グループ長、西尾啓治 雪印メグミルク株式会社取締役のお三方からご祝辞をいただきました。詳しい内容は3面に掲載いたしました。が、いずれも、全改協は酪農「販」として重要であり、全改協の加盟店は、酪農乳業界の中でも唯一、お客様と直接向き合う業種であること、また、防犯パトロールや高齢者見守りなど、地域貢献、地域に密着した業種であり、他の業種、他の宅配業界にはない、優れた特徴であることを挙げられました。

祝電の披露の後、議長に堀田熊本県流改協会長、議事録署名



〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエンビル6階
発行所
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
TEL.03-6380-8021
FAX.03-6380-8435
e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp
U R L : www.zenkaikyou.or.jp
twitter : @zenkaikyou
facebook : 全国牛乳流通改善協会

紙面から



第37回通常総会	(1~2面)
事業計画の概要	(3面)
地区別代表者会議	(3面)
全改協創立40周年記念式典、 「牛乳の日・牛乳月間」	(4面)

人に水戸 宮城県流改協会長、吉留 鹿児島県流改協会長を選任して開始した議事は、前年度の事業報告、同決算報告、全改協組織強化資金取り崩しについて審議し、承認可決されました。また、本年度の事業計画と本年度の収支予算についての報告がありました。次いで役員改選があり(左表参照)、村田副会長の閉会の辞をもって総会本会議は終了いたしました。

平成26年度 全改協役員

会長	橋本 正敏
副会長	村田 武司
副会長	北川 忠男
専務理事	中西 園彦
常務理事	伊藤 恵祐
常務理事	白羽 恵司
理事	加藤 正三
理事	甲斐 哲郎
理事	田村 長次郎
理事	田村 保之
理事	中島 保廣
監事	家村 正則
監事	佐藤 卓

ガセリ菌のチカラで、一歩進んだ健康習慣。



ゼロ砂糖・脂肪0
カロリー(1本当たり)
37kcal



NEW 恵
ガセリ菌+
グルタミン
ヨーグルト
ドリンクタイプ

カラダをケアする
2つの
機能素材

ガセリ菌 SP株 + グルタミン



NEW 恵
ガセリ菌+
グルタミン
ヨーグルト

低脂肪
カロリー(1個当たり)
59kcal



写真はイメージです。

宅配専用



通常総会の様子

挨拶
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
会長
橋本正敏氏



ご多忙の折にもかかわらず、農林水

産省牛乳製品課 森課長様をはじめ、各メーカーの代表者様、ならびに関連組織・団体の代表の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また各都道府県流改協の皆様には、日頃なにかと協会運営にご理解とご協力を賜わり、各地域におきまして大変なご尽力をいただいております、心から感謝申し上げます。

本日
第37回
通常総会
開催にあ
りまして、

さて、当協会は、おかげさまで昭和48年の設立から本年で40周年を迎えました。今日に至るまでには、先達の皆様が大変なご尽力をいただきました。心より敬意を表したいと思います。本日は通常総会に引き続きまして、ささやかな表彰式を催し、永年ご尽力を賜りました役員の皆様に感謝の意を表させていただきます。どうか考えております。

当会は設立以来、生処販の一翼を担う組織として、貫して消費者の方々を向き合っておりました。当初は主に調査事業を行って

おりましたが、近年は地域における全改協の加盟店の社会的地位の向上、存在感の向上に寄与するための独自の事業を行うよう進化したいたしました。平成23年度の改革委員会の検討も、事業内容の進化の理由の一つでした。私たちは、その使命を果たし、事業を実施し続けていくことがこれからの役割だと改めて認識いたしております。

平成26年度の事業としましては、「安心・安全」の追求はもとより、社会貢献にもさらに力を注ぎたいと考えております。さらなる皆様のご指導ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

本日の40周年記念総会が意義のある記念総会となりますよう心より願ひ、開催の言葉とさせていただきます。

祝辞

農林水産省生産局畜産部
牛乳製品課 課長補佐
森重樹氏



第37回
通常総会
の開催、ま
た創立40
周年、本日

の記念式典の開催につきまして、心からお祝い申し上げます。加えて、5月16日の平成26年春の褒賞授与にて、松尾和重相談役が藍綬褒章を受章されたことをお祝い申し上げます。

昨年度の牛乳の需給動向は、乳牛の飼養頭数の減少などで生乳生産量が前年比マイナス2.1%と減少しました。一方需要は、牛乳はマイナス0.4%、加工乳がマイナス8.9%、それぞれ前年を下回りましたが、乳飲料はプラス1.5%、発酵乳はプラス10.3%で前年を上回りました。

牛乳の販売店等の状況については、後継者不足等により減少が続いていると伺っております。さらに、牛乳消費量の長期減少傾向の中、大型量販店やコンビニ等との競合激化で厳しい状況と伺っております。

ただ、牛乳の安定供給、消費の拡大は、生処販の連携が極めて重要であり、全改協の加盟店の皆様のご役割は大いに期待される所です。特に、消費者と近い距離にある、地域密着型の販売形態である全改協の加盟店様が、その特質を活かし、消費者のニーズに的確に対応した形で役割を果たされることを大いに期待して

祝辞

一般社団法人Jミルク 会長代理
普及グループ部長
木村敬氏



本来、会
長の浅野
が出席し
ご挨拶申
しあげるべ
き所ですが代理で失礼いたします。

本日は、第37回通常総会、並びに創立40周年おめでとうございます。また松尾前会長の藍綬褒章受章、おめでとうございます。これは松尾前会長のみならず全改協の加盟店の皆様が永年の努力が表彰されたとも言えます。改めて敬意を表します。

牛乳製品、酪農乳業の情勢は、学校給食牛乳を一時休止する動きが一部の地域である等、楽観できません。Jミルクとしても看過できない問題で、公正公平な視点で意見を出すべ

く準備しております。

6月は牛乳月間、1日は牛乳の日です。業界一丸で取り組んでおり、Jミルクはその「旗振り役」です。全改協はじめ各方面から、統一のポスターやリーフレット制作のご要望があり、今年はコスト低減を図るため、Jミルク一括で印刷しました。全改協からもポスター、リーフレットの印刷ご注文をいただきました。最大限のご活用をお願いいたします。また、5月31日には、東京・丸

ビルにて記念フォーラムを開催いたします。Jミルクのホームページには各地の牛乳の日・牛乳月間の取り組みを掲載しました。皆様の地域のお客様が牛乳の良さを理解されるよう、イベントへの参加をご案内ください。

牛乳販売店のお仕事というのは、酪農乳業界で唯一、お客様と直接向き合い、フェイス・トゥー・フェイスで絆を持たれている貴重なチャネルであるということはおしあげられるまでもございません。どうぞ今後もこの特性を活かして、皆様の事業、また、全改協がますます発展されますよう祈念し、ましてお祝いの言葉といたします。

超高齢化社会となり、食品宅配市場は2兆円に迫る規模にまで伸びている数少ない成長市場です。その中で全改協の加盟店には、定期宅配、地域密着という、他の宅配業界にはない独自の強みがあります。防犯パトロールや高齢者見守りなどの社会貢献という特長もあり、今後その存在感が再認識されることを確信しております。

祝辞
雪印メグミルク株式会社
取締役



賛助会
員を代表
しましてご
挨拶申し
あげます。

40周年の節目となる第37回通常総会の開催おめでとうございます。昨年

度の一般社団法人移行から2年目、橋本会長はじめ役員各位の運営全般へのご努力に改めて敬意を表します。酪農乳業界では、引き続きコストアップ構造の継続、TPPの難航など生処販それぞれの展望が非常に不透明です。そのような中、業界の発展、加盟店の経営安定化、向上に向けた全改協のマークを越えた取り組みは今後ますます重要で、メーカーも大いに期待しております。

全改協の事業である、体験事業、普及啓発、優良事例発行事業のほか、消費税増税への対応、関係諸団体との連携などは、まさに生処販の一翼である「販」としての存在価値を高め、全改協の加盟店の経営向上の後押しをし、ひいては酪農乳業界全体の底上げにつながっていきます。今後も、従来の活動に加えて、時代のニーズに応じた新しい活動を加えて、生処販の一翼を担う販の代表として流通業界の牽引役を担っていただきたいと思います。

最後に、全改協のますますのご発展、ならびに会員・加盟店の皆さま、ご家族・従業員の皆さまのご健康とご多幸を祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。

26年度事業

事業計画の概要

本年度より地区別代表者会議を開催

全改協は一般社団法人のため、一般社団法人移行前の事業を引き続き実施する(継続事業)必要があります。このため平成26年度の事業は昨年度と同様の事業を実施することに對する承認を、4月度の理事会ですべて受けており、本総会でその承認を受けた事業内容を報告しました。

当年度に実施する事業の内容については、従来は都道府県流改協の事務局長を対象にした「事務局担当者会議」にて説明を行っていましたが、「全改協だより」で既報のとおり、本年度から、**全国を4つのブロックに分け、流改協の会長、事務局担当者を対象に、当年度事業の説明と各地域での意見交換を目的とした「地区別代表者会議」を開催することに變更いたしました。**開催報告は左下表に掲載しております。

事業の内容

1. 啓発活動事業

(1) 啓発活動事業

① 体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)

中学校の授業に「職業体験」があるが、受け入れる職場は少ない。そこで、牛乳販売店が受け入れ先となつて中学生に業務を体験してもらおう。業務を通して、働くことの意義や基本を学ぶと同時に、牛乳が成長期に有用な食品であることの理解を深め、飲用の機会を増やすことを促し、中学生の健康増進や体躯向上に寄与する。

(2) 広報活動事業

① 広報物配布事業(ミルクカレンダー)

牛乳は各種栄養素がバランスよく含まれ、手軽に利用できる食品である。牛乳の利用をさらに拡大するためには、「飲む」だけでなく「料理」に活用することが有効である。牛乳に含まれる栄養素とその効用、調理する基本および1年365日の牛乳を料理に取り入れる工夫を施したレシピ、牛乳製品の情報並びに宅配牛乳の利便性等を掲載したミルクカレンダーを作成し、消費者に無料配布する。「料理する」ことで、食生活の向上や健康増進につながることを目的とする。2015年版は、牛乳を和食の素材に積極的に用い、「減塩」に役立てるレシピを紹介する。

平成26年度は、幼稚園や保育所及び小学校に對して「職場訪問」「社会科見学」等の場として提供し、地域社会に貢献するとともに牛乳販売店の社会的地位を高める。

「職場体験」の募集方法は、従来の方法のほかに、文部科学省の職業体験マッチングサイト「子どもと社会の架け橋」となるポータルサイトを新たに利用する。

② 啓発事業(妊産婦への牛乳促進「ママに牛乳どうぞ」キャンペーン)

女性にとって妊娠中や出産後の授

乳期は、栄養の補給が特に必要になる時期であることから、妊産婦に對し牛乳の飲用を促す啓発活動を行い、母体と胎児の栄養補給および健康増進を図る。

昨年度と同様に加盟店からの募集とインターネット応募を実施するが、加盟店からの応募は期限を設けず通年とする。

今年度も「ミルクが企画・制作、全改協が部数のとりにまとめ、印刷、配布を担当する。原則として、都道府県の流改協にとりまとめをお願いする。

② 事例集発行事業(牛乳販売店優良事例)

会員である都道府県流改協から、少子高齢社会の中で「お客様」や「地域社会」に貢献し、飲用牛乳を広く普及させている加盟店の事例を募る。中央では、すべての応募について審査委員会に諮り、審査基準に則り発表店を決定する。発表会では審査基準に則り表彰店を選定し表彰する。

平成26年度も応募資格は変更しないが、加盟店が応募しやすいように応募用紙に記載する内容を変更する。また、本事業が加盟店の活動内容を重視して選考することを各地で開催する地区別代表者会議にて説明し、理解を深め応募店の増加を図る。

① 機関紙「全改協だより」の発行

全改協における主な会議の実施報告、諸事業の取り組み状況、酪農乳業界の情報・動向、牛乳製品の情報および牛乳販売店経営の活性化近代化を図るための参考資料等を掲載し、都道府県流改

協を通じて全国の加盟店に配布する。

② 安全パトロール

安全パトロールの取り組みは一部の流改協では実施しているが、大半は未実施の状況である。都道府県流改協において都道府県警察の協力を得やすくするために、全改協と警察庁で連携する。

③ 社会福祉協議会との連携

高齢社会への対応の一つとして、各地で行われている社会福祉協議会の活動を都道府県流改協として取り組みやすくするために、全改協にて中央団体と連携して進める。

3. 事業会議

地区別代表者会議

全改協の位置づけおよび役割や事業内容をより深く理解してもらい、さらに地域からの意見を拝聴する会議を全国4ヶ所(仙台、東京、大阪、福岡)で開催する。

平成25年度まで実施していた「流改協会長会議」と「事務局担当者会議」を合体させて4ヶ所で開催する。

4. 全改協ホームページ

全改協組織の周知ならびに加盟店や消費者に提供すべき情報をタイムリーに掲載し、必要な更新をその都度行う。同時に、宅配(牛乳・販売店)や全改協の加盟店への啓蒙活動の支援充実を目指す。

また、牛乳や宅配牛乳について情報発信を定期的に行うページを新設し、同社の関心を呼び込み、「啓発事業(妊産婦への牛乳促進)」のモニター確保と連動させる。

5. 関係団体への協力

牛乳製品の普及および消費拡大に向けて、一般社団法人「ミルクの

正会員として「ミルク」の諸活動に積極的に参加する。また、公益財団法人食品流通構造改善促進機構のメンバーとして関係団体とも協力して諸活動に参加する。

また、全国牛乳商業組合連合会、日本乳政政治連盟、マーク団体及び乳業団体等関係諸団体とも緊密な連携をとり、酪農乳業界の発展のため協力する。

地区別代表者会議を開催

すでに「全改協だより」でお知らせいたしましたとおり、昨年度まで実施していた「事務局担当者会議」と「流改協会長会議」を一つにし、全国4ヶ所で「地区別代表者会議」として、全改協の位置付け・役割・事業内容などを理解していただき、さらに地域ごとの開催としたことで少人数化し、意見交換をしやすくした「地区別代表者会議」が開催されました。

仙台 6月6日(金) 13:30~16:30 於 ホテルモントレー仙台
出席流改協(会長および事務局):北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
橋本会長、全改協小本

東京

6月7日(土) 13:30~16:30 於 アルカディア市ヶ谷
出席流改協(会長および事務局):茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、橋本会長、村田副会長、北川副会長、全改協小本、大石

福岡

6月13日(金) 13:30~16:30 於TKPガーデンシティ博多
出席流改協(会長および事務局):広島、山口、福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島
橋本会長、中西専務理事、全改協大石

大阪

6月14日(土) 14:00~17:00 於 ホテル大阪ベイタワー
出席流改協(会長及び事務局):富山、福井、岐阜、愛知、三重、静岡、滋賀、京都、兵庫、奈良、岡山、徳島、香川、愛媛
橋本会長、中西専務理事、全改協小本



森永カルダス

消費者庁許可 保健機能食品 (特定保健用食品) ※乳製品乳酸菌飲料

日本人間ドック検診協会 推薦



生きたまま腸まで届く
ビフィズス菌で
お腹の調子を整えます!

- ミルクカルシウムが2倍(当社普通牛乳比)
- 森永独自のビフィズス菌(BB536)
- 鉄分1mg
- カルシウムの吸収を助けるビタミンD



カラダ強くするのむヨーグルト ラクトフェリンと ビフィズス菌BB536

宅配専用1本 110g

ヨーグルトの可能性は
ここまで進化した。

カラダを守る話題の成分ラクトフェリンとビフィズス菌BB536、モラック乳酸菌を配合。3つの力でカラダ強く。

3つの成分

ラクトフェリン

ビフィズス菌BB536

モラック乳酸菌



森永乳業

全国牛乳流通改善協会 創立40周年記念式典

全国牛乳流通改善協会は昭和48年の設立から40年を迎えることができました。5月20日開催の第37回通常総会に引き続いて、同じ会場で創立40周年記念式典を開催いたしました。

創立40周年記念式典は、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課の夏目係長ほか関係各団体、賛助会員であるメーカーの方々等を来賓にお迎えし開催いたしました。

橋本会長の挨拶に引き続いて、永年全改協の事業にご尽力いただいた先達の方々の表彰が行われました。



表彰された方々（役職は式典当日のもの）

☆農林水産大臣 感謝状

村田 武司
(全改協副会長)
中西 啓彦
(全改協専務理事)

☆一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長表彰状

渋谷 俊夫 (全改協常務理事) 古 信 (全改協理事) 岡井 文衛 (愛媛県流改協会長)
中田 貴顕 (全改協理事) 甲斐 哲郎 (全改協理事) 小島 武利 (全改協前常務理事)
加藤 正三 (全改協常務理事) 松尾 和重 (全改協前会長、相談役)
谷尻 順一 (全改協常務理事) 横山 守男 (山口県流改協会長)

☆一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長感謝状

家村 正則 (全改協監事) 木村 時夫 (静岡県流改協会長)
田中 章三 (全改協常務理事) 伊藤 恵祐 (秋田県流改協会長)
堀田 征夫 (全改協理事) 伊川 昭男 (石川県流改協会長)

表彰のあと、農林水産省 夏目係長、(一社)Jミルク 前田専務、森永乳業 菊地執行役員からの祝辞、ならびに受賞者代表として中西専務から謝辞があり、村田副会長の閉会の辞で式典はお開きとなりました。これまでの皆さまの業績、ご尽力を改めて思い、新たな全改協の歴史に向かう区切りの式典となりました。

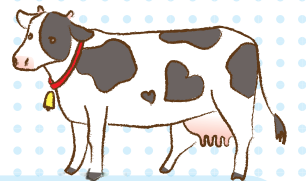


松尾元相談役に藍綬褒章

松尾和重 全改協元相談役・元会長が、平成26年春の褒章で藍綬(らんじゅ)褒章を受章されました。松尾氏は78歳、平成20年から24年まで全改協の会長、その後本年5月まで相談役を務められました。伝達式は5月16日に農水省講堂で行われ、その後皇居にて拝謁が行われました。

6月1日は 牛乳の日 WORLD MILK DAY 6月は牛乳月間

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。これは、FAO(国際連合食糧農業機関)が2001年に、6月1日をWorld Milk Day(世界牛乳の日)とすることを提唱したことによります。日本もこれに合わせる形で、6月1日を「牛乳の日」、また6月の1ヶ月間を、食育月間でもあることから「牛乳月間」としたものです。日本の酪農乳業界挙げて、6月にはさまざまな催し、イベントが行われました。私たち全改協に関係するものの実施結果を紙面でご報告します。



加盟店店頭用ポスターの制作・配布

酪農乳業界 生処販統一の牛乳月間訴求のポスターと、和食料理に牛乳を取り込むことにより減塩効果がある「乳和食」の説明リーフレットを印刷し、5月はじめに各流改協にお届けしました。各加盟店さんにも届き、店頭に掲示ならびにお客様にお配りしていただいたことと思います。



ミルクカレンダーのミルクレシピがNHK『きょうの料理』で紹介されました

日本の料理番組の代表格 NHKの『きょうの料理』で、今年全改協のミルクカレンダー「牛乳屋さんのミルクカレンダー2014」の中で紹介した料理<トマトと牛乳でつくるチキンカレー(「牛乳月間」の6月)>、<ヨーグルトそうめん(7月)>、<明太コロッケ(8月)>、<かぼちゃのミルク煮(9月)>、の4種類の作り方が紹介されました。カレンダーの料理監修をしていただいた寺田真二郎先生、高城順子両先生の指導で、6月24日に放映(再放送25日)されました。

「牛乳の日」記念学術フォーラム 「牛乳は子供たちを救えるか! 現代日本の食、その成り立ちとこれから」

牛乳の日を記念し、乳の学術連合と一般社団法人Jミルクの主催で、5月31日に東京・丸の内丸ビルホールにて記念学術フォーラムが開催されました。

昨年末に和食が「日本人の伝統的な食文化」としてユネスコ世界無形遺産に登録されたことを機に「和食回帰ブーム」が訪れています。わたしたち日本人にとって「食事とは」「日本食とは」何か、そしてその中で牛乳はどのような役割を担ってきたか、担っていくべきかを講演、ディスカッションを通して意見交換がされました。

特に「和食と合わないため、学校給食では牛乳をださない方がよい」との主張に対してさまざまな論点が展開され、改めて牛乳の役割を考えていく上で契機となる、貴重なフォーラムとなりました。



急な代配 & 配達スタッフ育成の即戦力!!

OS・端末を問わず使える
宅配ルートマップ作成システム

代配くん

システム青葉はいつも明朗会計

利用料はな・ん・ど! 月額 3,500円〜(税別)

通話無料 受付時間 月〜土/9:00〜18:00

0800-111-8000



ホームページからもお問い合わせ頂けます
s-aoba.co.jp

システム青葉 検索